

学校名	橋上小学校
授業者	河原 隼人

1. 単元計画

実施した活動内容に基づきご記入ください。

1-1. 単元名

水族館を見学しよう

1-2. 学年

1年・2年・4年・5年・6年（3年生在籍児童無し）

1-3. 教科（単元を実施する教科を全てお書きください）

学校行事

1-4. 単元の概要

年間を通して、川と海の生き物を飼育することを通して、環境問題・海との共生について考えるための取り組みを行うために、水族館を見学し、施設の方に魚の方法と海的环境について話をさせていただいた後、学校で飼育する生き物を釣り竿で捕獲する活動を行った。サバを沢山釣り上げるのができたが、水槽では飼育できないので、すべて海に帰した。その後、砂浜の清掃活動を行った。

1-5. 単元設定の理由・ねらい

・生き物を自分たちで飼育することを通して、海や川の生き物を通して、自分たちの身近にある海への興味関心を高めると共に、水族館での魚の方法について学ぶことを通して、多くの生き物を育てている海の素晴らしさについて考えるために、この単元を設定した。

1-6. 育みたい資質や能力、態度

・豊かに海での体験や生き物にふれることで、進んで海の自然に親しもうとする態度。

1-7. 単元の展開（全6時間）

時数	学習活動・主な内容	教師の指導 / 主な評価 外部連携 / 使用教材等
3	<p>○海の生き物についての飼育方法を調べる。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 図書で調べよう。 ・ ネットで調べよう。 ・ どんなものが必要かな。 <p>○魚釣りのしかけをつくろう。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 竿とリールの使い方を練習しよう。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 課題を提示し、児童が調べる補助をする。 <p>評価 自分の方法で調べることができている。 （観察・ノート）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ セットの仕方と、使い方の模範を示し、あとは児童の活動の見守り・助言を行う。 <p>評価 自分で進んで取り組むと共に、友達と協力もできる。</p>
2	<p>【「さとうみ」及びその周辺での校外学習を実施する】</p> <p>○本時「水族館の飼育方向を調べよう」</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ どんな生き物が飼育されているかな。 ・ 海水はどうしているのかな。 ・ 餌はどうしているのかな。 <p>○「学校で飼育する魚をつかまえよう」</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ どのポイントで魚が釣れそうかな。 ・ 何か釣れるかな ・ 飼育できそうな魚は何かな。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 水族館の職員に魚の生態等について説明をしてもらいながら、館内を見学。バックヤードでは、機械等の説明を受けたうえで、学校で飼育するためのポイントについての質疑応答。（学校で飼育するで、不明な点が出てきたきは、いつでも相談できるようになっている） <p>評価 進んで観察できている。（観察）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 教師が、安全面について注意したあとは、児童の活動の見守り・助言を行う。 <p>評価 飼育できそうな魚について考えることができている。（観察）</p>
1	<p>○「飼育方法を確認しよう」</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ わかったことをまとめてみよう。 ・ 不足している物は何かな。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 教師は、本時の活動の内容を提示し、児童の活動の見守り・助言を行う。 <p>評価 協力してまとめることができている。 （観察・ノート）</p>

2. 学習活動の実際

実施した単元中のキーとなるような時間（導入の時間・主となる活動の時間・まとめの時間など）の学習内容をご記入ください。また、複数の時間についてご記入いただける場合には、この項目をコピーして複数記入していただいても構いません。

2-1. 単元における位置づけ

単元 時間中の 時間目

※例：単元 10 時間中の 2 時間目 / 単元 15 時間中の 4, 5 時間目

2-2. 本時の目標

学校での海の生き物を飼育観察する方法を、水族館の施設見学を通して学ぶことにより、海の生き物に対する興味関心を高める。

2-3. 本時の展開

主な学習活動 / 反応	教師の指導・支援 / 評価の視点（方法）
<p data-bbox="137 920 794 969" style="border: 1px solid black; padding: 2px;">水族館の先生に、魚の飼い方を聞いてみよう。</p> <p data-bbox="137 1025 798 1104">○水族館の飼育員の方に、館内を案内していただきながら、魚の種類や生態について学ぶ。</p> <ul data-bbox="137 1122 794 1346" style="list-style-type: none">・川の生き物もいるんだ。・沢山の海の生き物があるね。・この魚はどこから来ているのかな。・海水はどこから来ているのかな。・餌は何かな。 <p data-bbox="137 1406 798 1485">○バックヤードで施設見学を行い、学校での飼育方法について、大切なポイントについて確認する。</p> <ul data-bbox="137 1503 798 1682" style="list-style-type: none">・学校にある水槽の大きさで、どんな生き物が飼育できるかな。・水換えや、餌やりのポイントはどんなことかな。・病気になったらどうしたらいいのかな。	<p data-bbox="826 1070 1487 1395">・水族館の職員に魚の生態等について説明をしてもらいながら、館内を見学。バックヤードでは、機械等の説明を受けたうえで、学校で飼育するためのポイントについての質疑応答。特に、飼育方法については自分たちで事前に調べている方法で、良いところや、まだ不足しているところを、比較して聴けるように事前指導を十分に行っておく。</p> <p data-bbox="826 1451 1302 1485">評価 進んで観察できている。（観察）</p>

3. 今回の活動の自己評価

・学校で計画を十分にねり、準備も行い、水族館とも事前に連絡を取り合い十分に連携できていたので、児童主体の活動を行うことで、十分に目的を達成することができた。特に、飼育に行った釣りでは、多くの「サバ」を釣り上げ観察することができた、学校の水槽で飼育できない生き物は、持ち帰らないことを事前に学習していたので、サバは全て、子ども達で、進んで海へかえすことができていた。

4. 今後の課題

・もう少し、魚の飼育に関しての体験活動を多くとりたいが、移動のバス代にかなりの費用がかかるので予算の捻出が課題である。

5. 本学習内容報告書活用にあたっての留意点



※実施した单元ごとに作成してください。

※写真、画像、図表等の使用可。必要に応じて記入欄やページ数を増やしても構いません。

※基本レイアウト

フォント：MS 明朝、10.5 ポイント / マージン：上下端 20mm、左右端 16mm

※ファイル名は「学習内容報告書_学校名」とし、複数提出する場合は学校名の後に数字を記載してください。

例：学習内容報告書_海洋市立パイオニア小学校 1

※年間指導計画（年間の指導計画における単元の位置づけが分かる資料）があれば別添資料として提出してください。フォーマットの指定はありません。